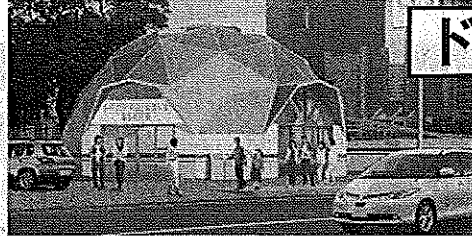




ドーム建築



オプションで太陽光発電パネルも設置できる(イメージ)

耐火性と環境配慮両立

井口インターショップ・催事施設に

井口インターショップ(東京都渋谷区、井口哲朗社長、03・5456・1348)は、耐火性能を有するドーム型建築「ワンダードーム」の受注を始めた。価格は3.3平方メートル当たり40万円。国内で初年度40棟、3年目に450棟の販売を見込む。販売代理店を募集しており、日本全国や東南アジアなどでの事業展開も視野に入れている。同社は構造設計事務所。

三角形パネルをボルトで接合して五角形と六角形を構成し、組み合わせで半球状の屋根をつくる。約1カ月で躯体工事と設備工事が可能。「三角形パネルは四角形のものに比べ外圧に強い。ドーム型建物は空気が対流しやすく、省エネに優れ

ている。耐火性や耐震性も高い(井口社長)としている。柱が必要なく組み立てが簡単なため、イベントにも使える。井口インターショップが開発した三角形の太陽光発電パネルをオプションで装着可能。南半分には付けた場合、一般家庭

の総消費電力量の1.25倍にあたる年間6900kWh時を発電できる。同社は1998年に木造のドーム型建築を発売。鹿児島県内に12棟をつくった。しかし木造型建造物には建築制限があるため、用途が別荘などに限られていた。今回、

鉄や断熱材を用いた耐火構造のパネルを開発。代理店を通じてコンビニなどの業務用施設向けを中心に売り込む。木造型と比べ価格を約3分の2、工期を約3分の1に抑えられる。

今回は約130平方メートルのタイプを発売。25坪(約60平方メートル)の6タイプについても開発を進めている。すでにメーカーの選定は済ませており、全国で30件の販売代理店契約を目指す。